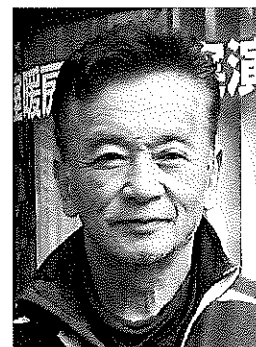


LPガス保安優良事業者を訪ねて

今回は神奈川県相模原市に本社を置く「有限会社細谷達司商店」を訪れ、細谷和久代表取締役社長にお話を伺いました。

訪問先

有限会社細谷達司商店



細谷 和久
代表取締役社長

~~~~~「まちのあきんど」として、保安に労力惜しまず~~~~~

(編)：御社はLPガス販売のみならず、酒類の販売やコンビニも経営も手がけ、地域に強く密着しています。

細谷：当社は昭和43年に設立しましたが、当初はいわゆる「まちのよろず屋」で、44年に酒類の販売を、48年にLPガスの販売を開始しました。後に始めたコンビニ事業は、ファミリーマートとフランチャイズ契約を結び、平成2年に分社化しました。LPガス、コンビニ事業、外商が当社の3本柱です。

神奈川県LPガス協会の高橋宏昌会長が「まちのあきんどとして、地域密着で『まちの行灯』たれ」と協会員に呼びかけていますが、当社はまさに「まちのあきんど」ですね。幼少時に、父の細谷達司会長（前社長）がガス管工事をしていただいたのを見た記憶があります。

(編)：相模原市大野台で生まれ育った細谷社長が、「まちのあきんど」になるまでの経緯を教えてください。

細谷：父が昭和54年に市議員に立候補したため、当時大学生だった私は20歳で家業を継ぐことになりました。当時は一

部のお客さまに自社配送をやっていたので、私も8年ほど、上溝方面のお客さまを担当し、容器を替えながら検針もしました。当時は酒類販売が忙しくて、除夜の鐘が鳴っていても配達していました。今は酒ではなく、恵方巻きの配達が忙しくなっています。ファミリーマート細谷大野台店は、県内のファミリーマートでも3位に入るほど恵方巻きを販売しているので、節分はLPガス事業のスタッフも配達を手伝っています。LPガスのお客さまにも恵方巻きキャンペーンを周知していて、正月が明けて、キャンペーンが終わってはじめて年明けを実感できません。

(編)：今でも、よろず屋として、地元の人たちに必要とされていますね。

細谷：大野台周辺は都市ガスエリアで、年々LPガス利用者も減っていますから、なおさら「まちのあきんど」でないとやっていけません。当社顧客でも都市ガスに切り替えた方がいますが、住設機器販売などを通じてつながりは絶やさないようにしています。外壁塗装、屋根の葺き替

え工事なども今は請け負うようにしています。引き合いを得ていて、福島県の方からも相談がありました。お客さまが困っていることは惜しまず対応しようと決めています。受注した以上は責任を持ってしっかりやります。

(編)：LPガスの保安も同じですね。

細谷：「保安なくしてガス屋はない」と考えています。疎かにしてはいけないのが保安です。細谷達司会長の「お客さまに必要とされる以上、しっかりやる」という教えを守っています。

また、LPガス容器の貸し出しも、当社ではずっと行っています。貸し出し用の容器は約40本、業務用コンロは約30本準備しています。

(編)：新型コロナ規制も緩和され、イベント需要が回復しています。

細谷：お客さまからキッチンカーを始めたいという要望を受けることもあり、30分圏内で急行できるエリアに限定して対応しています。車両の改造工事を手がける機会も増えています。



キッチンカーの改造工事も手がける

(編)：顧客に必要とされる以上は、しっかりやるというわけですね。ところで、相模原は市内を相模川、鳩川、道保川、境川が流れ、水害も想定されます。容器流出防止対策はいかがでしょうか。

細谷：ハザードマップで水害リスクが予測される地域では、容器流出防止のためにチェーン等の二重掛けを徹底しています。それ以外は二重掛けこそしていないものの、すべて保安ベルト掛けに変更しました。

(編)：保安活動や顧客への周知について、苦労されていることはありますか。

細谷：連絡がつかないお客さまへの対応ですね。家の外は点検できても、中は立ち合いなしでは点検できないので苦労します。日曜日の点検の場合は、社員を休ませないといけないので、自分でやるようにしています。

LPWA集中監視は、平成27年に国の構造改善推進事業補助金の交付を受けて設置を進めました。LPWA端末を設置しているお客さまは、なにかあれば対応ができます。当社は集合住宅にはLPWAを導入していますが、戸建てには設置しない方針にしている、戸建ては検針員が月に1回訪問するようしています。顔を合わせることで、お客さまの様子がわかりますので、「そろそろ外壁塗装が必要かな」などと気づいたら、ご提案するようにしています。

(編)：集合住宅の場合は、検針で訪問しても自宅にいないことが多いですから、お客さまの困り事も聞き出せません。

細谷：聞けたとしても、管理会社を通さないといけませんから簡単には仕事を受けることができません。また、当社は検針員

を5人体制で回していますが、そのうち2人は点検調査員の免許を取得してもらって点検も担当させようと考えています。私自身も月に1回、検針で2日間かけて秦野市と横浜市戸塚区、相模原市鳥

屋エリアを回っていて、お客さまからいろいろな情報を教えてもらうこともあります。覚えのないガス点検の訪問を受けることになっている、ということも耳にします。

### 期限管理と埋設管点検、保安周知を徹底

(編)：LPガス業界全体の保安に対するお考えを聞かせてください。消費者に起因する事故はかつてに比べて減少しているようですが、いかがでしょうか。

細谷：マイコンメーターの普及もありますし、コンロなどガス器具の進化も要因として挙げられますね。Siセンサーコンロなど安全装置が付いたコンロや、燃焼器用のゴムホースの普及もあって、減っているのだと思います。ただ、一時期、ビルトインコンロのグリル火災の事例を聞いたことがあり、消費者にはグリル皿掃除の必要性を周知する必要があります。LPガス業界全体の保安レベルアップのみならず、安全に関するお客さまへの周知も必要だと考えています。

(編)：保安への具体的な取り組みについてはいかがでしょうか。

細谷：期限管理はより丁寧にやっていく必要があると考えます。また、地震が多いことも考えると、調整器は張力式が必須です。可能であれば、集合住宅は容器1本にチェーン等のダブル掛けをしたいところです。そして、年に1回、お客さまに保安に関する通知をすることも大事です。2年に1回でも良いのですが、1年に1回、特に冬場に注意を喚起するべきだと思います。

(編)：業界だけでなく、お客さまサイドの保

安向上も併せて行っていくということですね。

細谷：メーターの復帰操作を教えたとしても、お客さまは怖いからと言って敬遠しがちです。その場合は、訪問してしっかり対応することが大切です。あと、頭を悩ませているのが、「LPガス容器の周囲2m以内は火気厳禁」というルールです。最近は隣近所で関係が薄く、住民同士が話し合っ調整することが難しくなっています。隣に建った新築が考慮してくれないのであれば、容器を移設するか、防護板を付けるかで対応する必要が生じて、労力とコストがかかります。責任を持って対応しますが、頭の痛い問題です。

(編)：保安には費用がかかる。

細谷：例えば、当社では特別支援教育を必要とする児童向けの小学校設備にLPガスを供給していますが、年によって設備が使われないこともあります。仮に10年間設備が使われなくて使用量がゼロでも、10年経ったらメーターを取り替えないといけない。調整器や警報器も交換する必要があります。費用は当社が負担しますが、保安を徹底するには、労力とコストがかかるということです。

(編)：4月から相模原市では、液化石油ガス法に係わる事務・権限が市消防局に移譲されます。

細谷：私は神奈川県L Pガス協会の副会長でもあるので、今後の立入検査についての情報交換を消防局と行うことになっています。消防局に移譲されることで、チェックも細くなるだろうと予想します。期限管理と埋設管点検をよりしっかりと行っていく必要があります。

(編)：県協会の副会長として、どのような取り組みに力を入れていますか。

細谷：現在は、無償貸与・無償配管問題に取り組んでいます。賃貸集合住宅物件へ無償貸与することは、借家人の負担につながりかねず、フェアではありません。取引の適正化を図るためにも、過剰な無償貸与を誘引するような管理会社への対応策を検討しています。業界全体で姿勢を正していかないと、L Pガス販売店は魅

力を失っていきます。

(編)：最後に座右の銘を教えてください。

細谷：アメリカンフットボールをやっていたのですが、ラグビーの合言葉「One for all, All for one」です。会員あつての県協会だという意識で、協会活動に取り組んでいます。会員の声をできるだけ汲みとろうと考えています。近年、跡取りがいなくなって、廃業せざるを得ないL Pガス販売店も出てきています。苦しんでいる会員の声は聞かないといけない。自治体と災害協定を結んでいても、対応できる販売店がないという事態が起きてしまうことになりかねません。だから、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を大事にしています。

細谷和久社長は、44年もの間、L Pガス業界に携わっている。「まちのあきんど」として地域住民の生活を支えるため保安の向上を図る細谷社長は、集中監視の普及と検針員による密な関係構築という2つの施策を使い分ける。費用と労力がかかれど、保安は徹底せねばならないという細谷社長の話からは、「まちのあきんど」としての矜持が感じられた。L Pガス事業に欠かせない姿勢は「惜しまず対応する」であることを再認識させられた。

#### (基本情報)

社 名： 有限会社細谷達司商店  
 所 在 地： 神奈川県相模原市南区  
 大野台2-25-3  
 創 立： 昭和43年(1968年)7月  
 代 表 者： 代表取締役社長 細谷和久  
 事業内容： L Pガス・灯油・木炭・練炭・豆炭の販売、酒・米穀販売、コンビニ経営、タバコ・食料品などの販売

